

武藤芳照の正義



東京・新宿で3月、第3回舞台医学研究会(主催・山本謙吾東京医科大学整形外科主任教授)が開かれた。

YOSAKOIソラン演舞者の下肢障害、外反母趾(ぼし)で踊れなくなったバリエーナ、バレエダンサーの股関節障害について、

くかを、医師と実践家と一緒に考えて考えるというユニークな研究会だ。

2014年2月の札幌市(主催・山下敏彦札幌医科大学整形外科教授)、2015年3月の奈良市(主催・田中康仁奈良県立医科大学整形外科教授)に続いての開催だが、中丸三千繪さんは毎回参画していただき、国際的ソプラノ歌手の健康管理の工夫と苦勞の様子をつかっている。

スポーツ医学は、スポーツ選手のケガ故障、病氣、事故への医学的対応を行い、スポーツの普及・振興と医

舞台医学とステージ・トレーナー

ての医師による研究発表に加え、ソプラノ歌手中丸三千繪さんのオペラ歌手としての自己管理の話、三代にわたって歌舞伎役者の健康管理を担っている内科医の市川尚一さんの貴重な経験談、そして松金よね子さんと私の「女優の演技と運動器の痛み」という内容だ。

さまざまな舞台で活動する芸術家、表現者のケガ、故障、病氣にどのように医学・医療の立場から支援してい

気の診断、診療、リハビリテーション、予防を医学・医療の立場から実践し研究し、教育しようというものだ。

歌舞伎、新派、演劇、ミュージカル、バレエ、ダンス、音楽、日本舞踊、能、狂言、民謡などさまざまな舞台があり、多様な身体表現者がいる。その一人ひとりの舞台芸術をサポートすることを通して、より一層舞台芸術と文化が発展することを希望している。

特に、スポーツ界にスポーツ・トレーナーやアスレチック・トレーナーがいて、ストレッチング、アイシング、テーピング、マッサージ、コンディショニング、トレーニングなどの指導、支援、実践をしているのと同様に、いずれ「ステージ・トレーナー」の本格的な教育制度化と活躍の場が必要だろう。

野球場、サッカー場、ラグビー場などの現場にスポーツ・トレーナーの姿があるのが当然であるように、各舞台、劇場、芝居小屋などにステージ・トレーナーの姿がいつもあ

る日を目指したい。(日本大総合研究所 長)